

別紙 3

東京都、大阪府の例

第3波では、東京都の確保病床使用率は83.6%（1月12日）、入院・入所先確認中は6,419人（1月20日）となった。また第4波では、大阪府の確保病床使用率は83.2%（5月4日）、入院率は9.8%（5月11日）まで低下して入院できない事例が非常に多くなった結果、自宅療養者と入院・入所先確認中の待機患者の合計は18,260人に達した。

	本例の 感染拡大期	確保病床使用率	入院率 (入院者数、宿泊療養者数、 自宅療養者等数、療養先調整中の者に対する入院者数の割合)	確保病床使用率 (重症患者)	自宅療養者、 療養先調整中の 合計
東京都	第3波 (2020年11月～ 2021年1月)	83.6% (1月12日) ※38.3% (7月20日：前日比 6.5ポイント悪化)	— ※23.7% (7月20日：前週比 5.6ポイント悪化)	— ※52.8% (7月20日：前日比 8.2ポイント悪化)	15,477人 【9,058人、6,419人】 (1月20日)
大阪府	第4波 (2021年 3月～5月)	83.2% (5月4日) ※20.3% (7月20日：前日比 3.8ポイント悪化)	9.8% (5月11日) ※24.0% (7月20日：前週比 4.8ポイント悪化)	80.4% (5月4日) ※11.2% (7月20日：前日比 0.5ポイント改善)	18,260人 【15,031人、3,229人】 (5月12日)

出所：数値は、厚生労働省「都道府県の医療提供体制等の状況（医療提供体制・監視体制・感染の状況）」、「新型コロナウイルス感染症患者の療養状況、病床数等に関する調査結果」

※「入院率」は、4月13日集計分より追加

※東京都独自基準によるものではないため、確保病床使用率（重症患者）は空欄としている